

第 1 章 共通事項

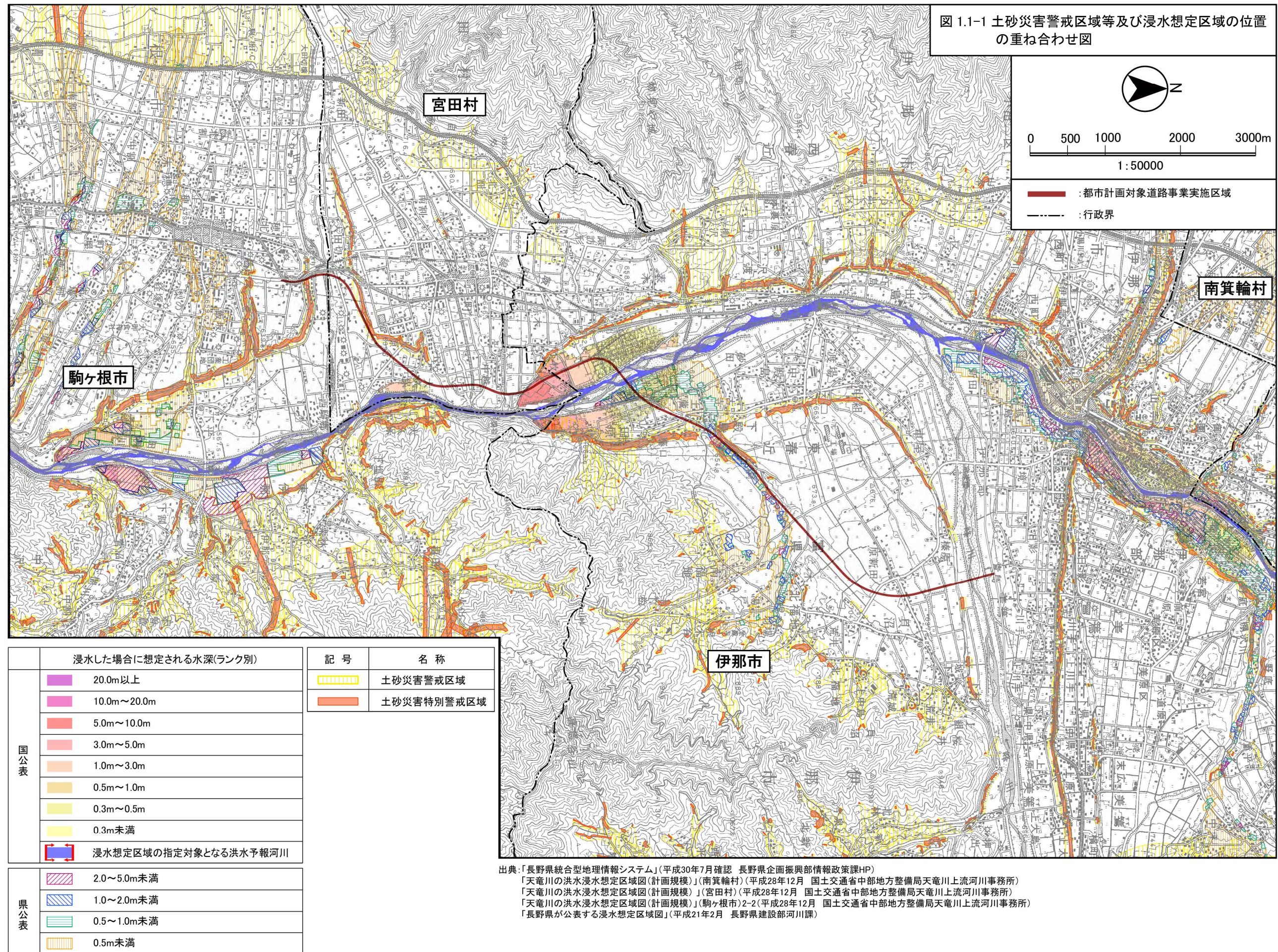
1.1 防災情報

1.1.1 土砂災害警戒区域等の位置及び浸水想定区域の位置の重ね合わせ

調査区域には、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」（平成 12 年 5 月 8 日 法律第 57 号）に基づく土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域がある。

また、「水防法」（昭和 24 年 6 月 4 日 法律第 193 号）第十四条に基づき、洪水予報河川及び洪水特別警戒水位への水位の到達情報を通知及び周知する河川（水位周知河川）に対して、洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域として、浸水想定区域が公表されている。

防災情報として多面的に調査区域を把握するために土砂災害警戒区域等の位置及び浸水想定区域の位置を重ね合わせた。重ね合わせた図を図 1.1-1（P1.1-2）に示す。



1.1.2 地震被害想定

1) 液状化危険度、沈下量

調査対象地域では、伊那谷断層帯による地震被害想定が出されている。液状化危険度はなし～やや高いである。液状化に伴う地盤の沈下量は対象外～0.0-0.1である。調査対象地域におけるケース別市村最大震度、液状化危険度及び沈下量を表 1.1-1 に、液状化危険度の予測結果を図 1.1-2 (P1.1-4～7) に、沈下量の予測結果を図 1.1-3 (P1.1-8～11) に、ゆれやすさマップを図 1.1-4 (P1.1-12) に示す。

表 1.1-1 ケース別市村最大震度、液状化危険度及び沈下量

市村	想定地震	ケース別の最大震度				液状化危険度	沈下量
		ケース 1※	ケース 2※	ケース 3※	ケース 4※		
駒ヶ根市	伊那谷断層帯(主部) 地震(M8.0)	7	7	7	7	なし～ やや高い	対象外～ 0.0-0.1
宮田村		7	7	7	7		
伊那市		7	6 強	7	7		

※：断層帯による地震については、強震動生成域（震源断層内で強い地震動を発生することが推定される領域）の位置や破壊開始点（震源断層で最も早く破壊する場所）の位置の設定によって同じ断層帯による地震でも発生し得る震度や被害が異なることから、4 ケースの想定地震を設定している。

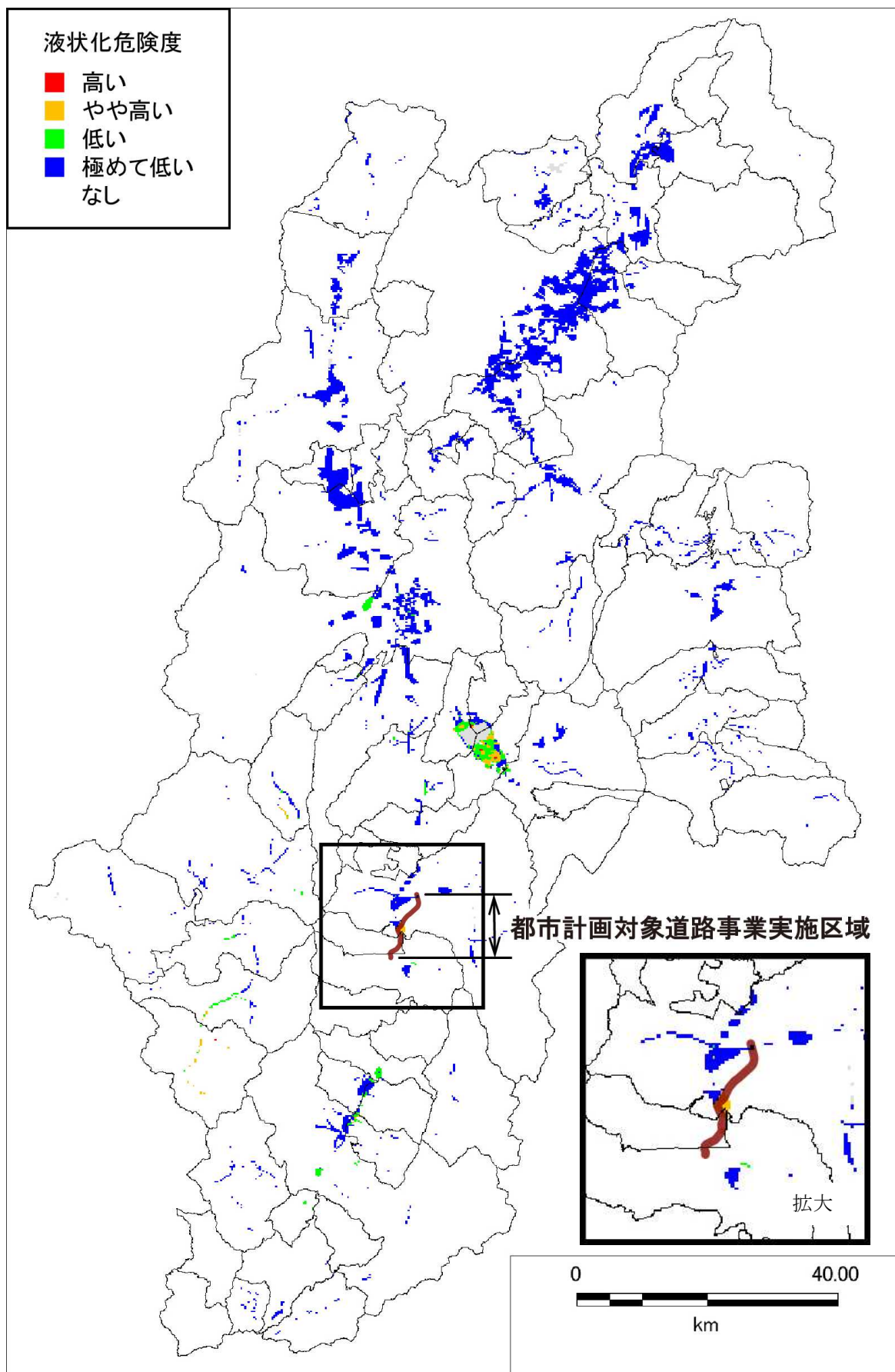
ケース 1：破壊開始点が最も南側の強震動生成域

ケース 2：破壊開始点が南側から 2 番目の強震動生成域

ケース 3：破壊開始点が北側から 2 番目の強震動生成域

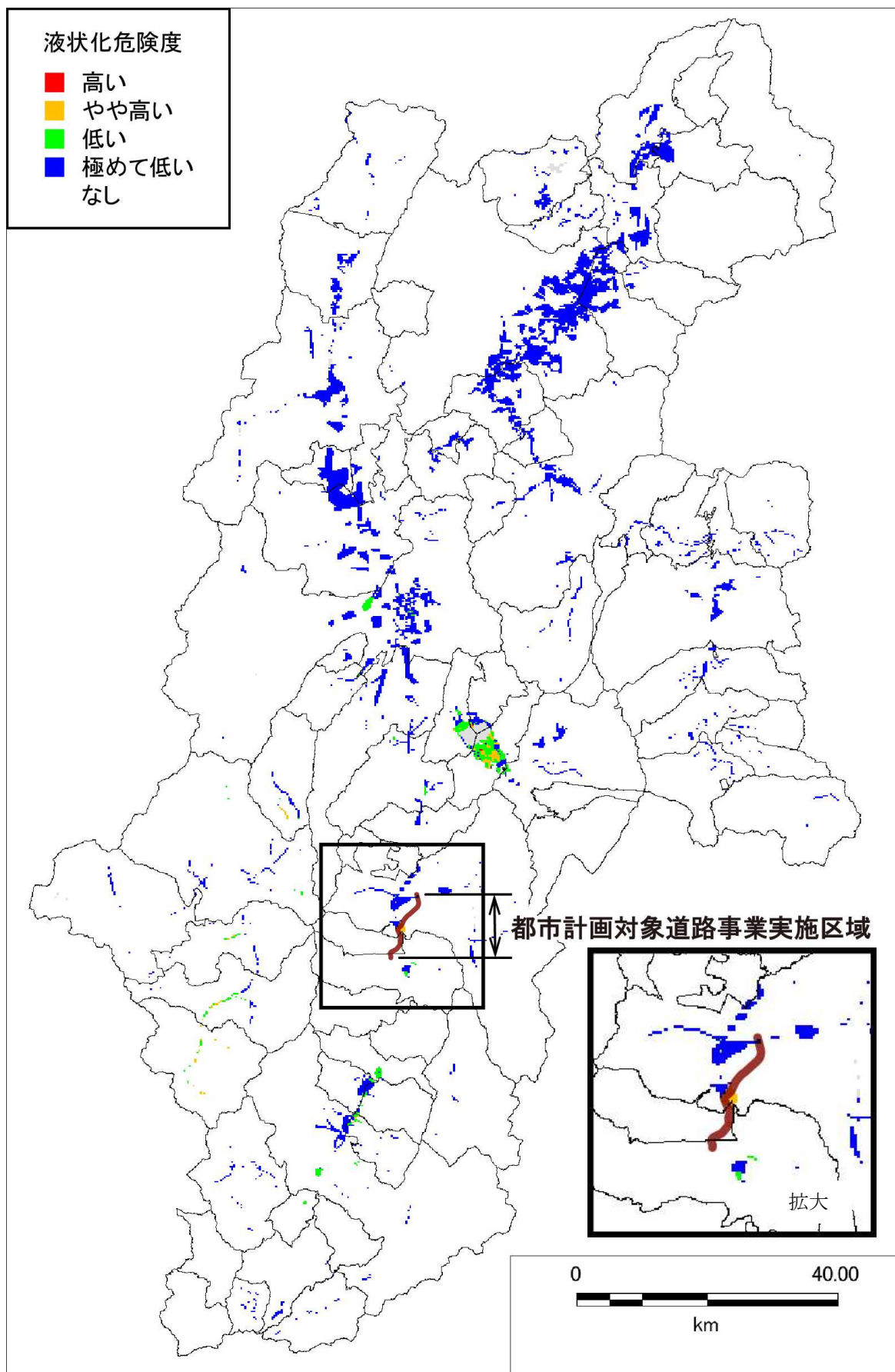
ケース 4：破壊開始点が最も北側の強震動生成域

出典：「長野県地震被害想定調査報告書（概要版）」（平成 27 年 3 月 長野県危機管理部危機管理防災課）



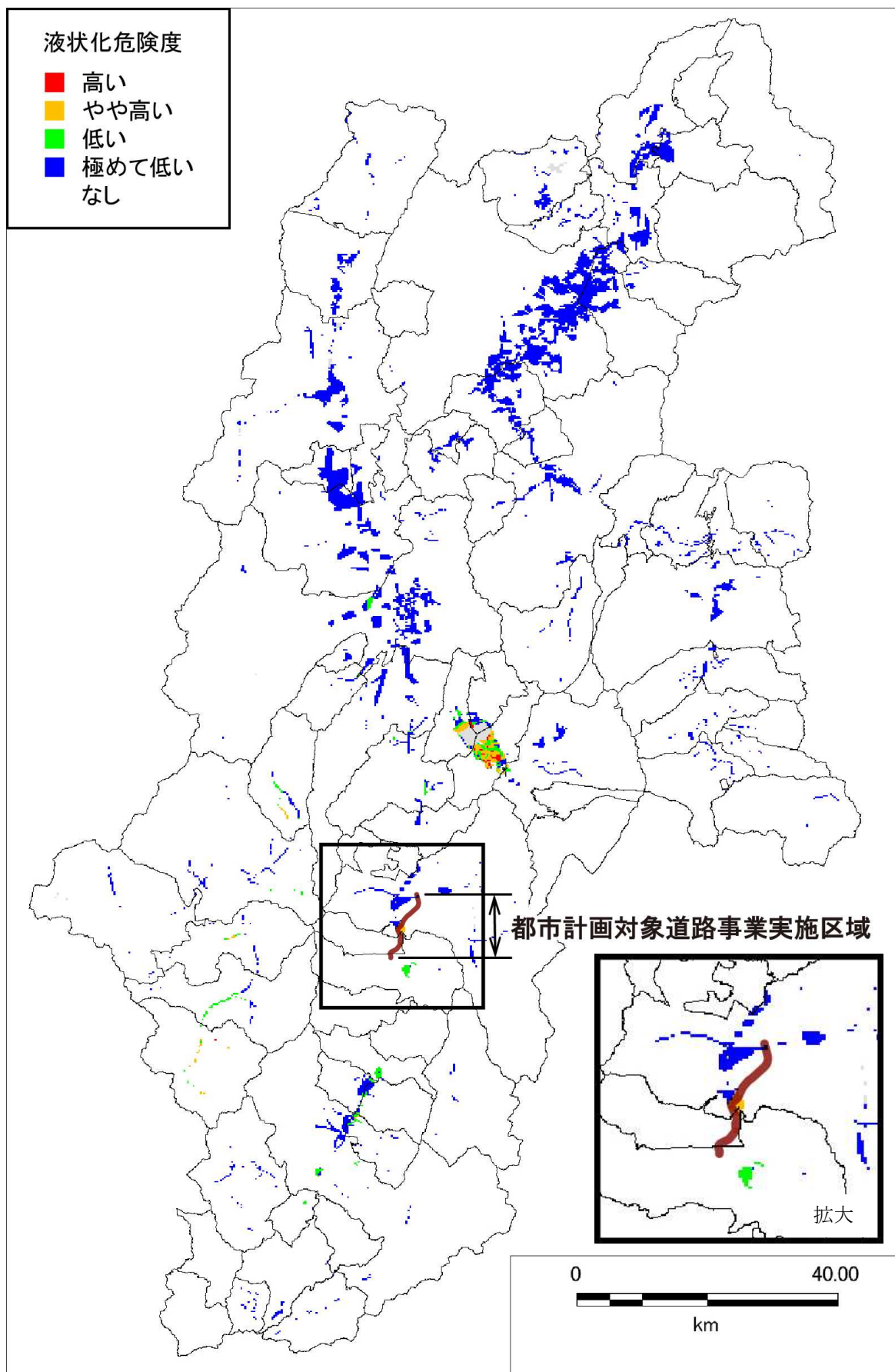
出典：「長野県地震被害想定調査報告書（概要版）」（平成 27 年 3 月 長野県危機管理部危機管理防災課）

図 1.1-2(1) 液状化危険度(ケース 1)



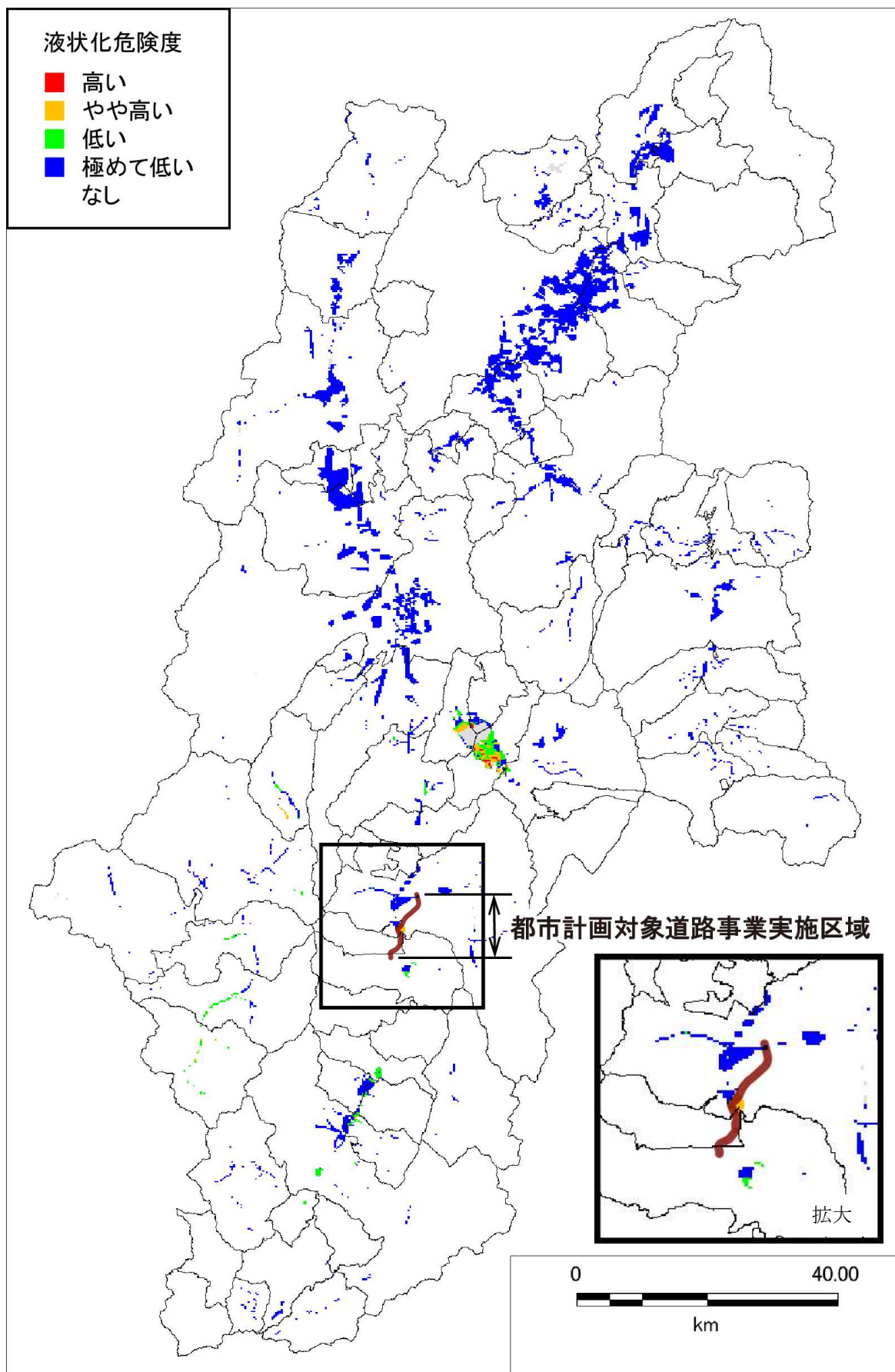
出典：「長野県地震被害想定調査報告書（概要版）」（平成 27 年 3 月 長野県危機管理部危機管理防災課）

図 1.1-2(2) 液状化危険度(ケース 2)



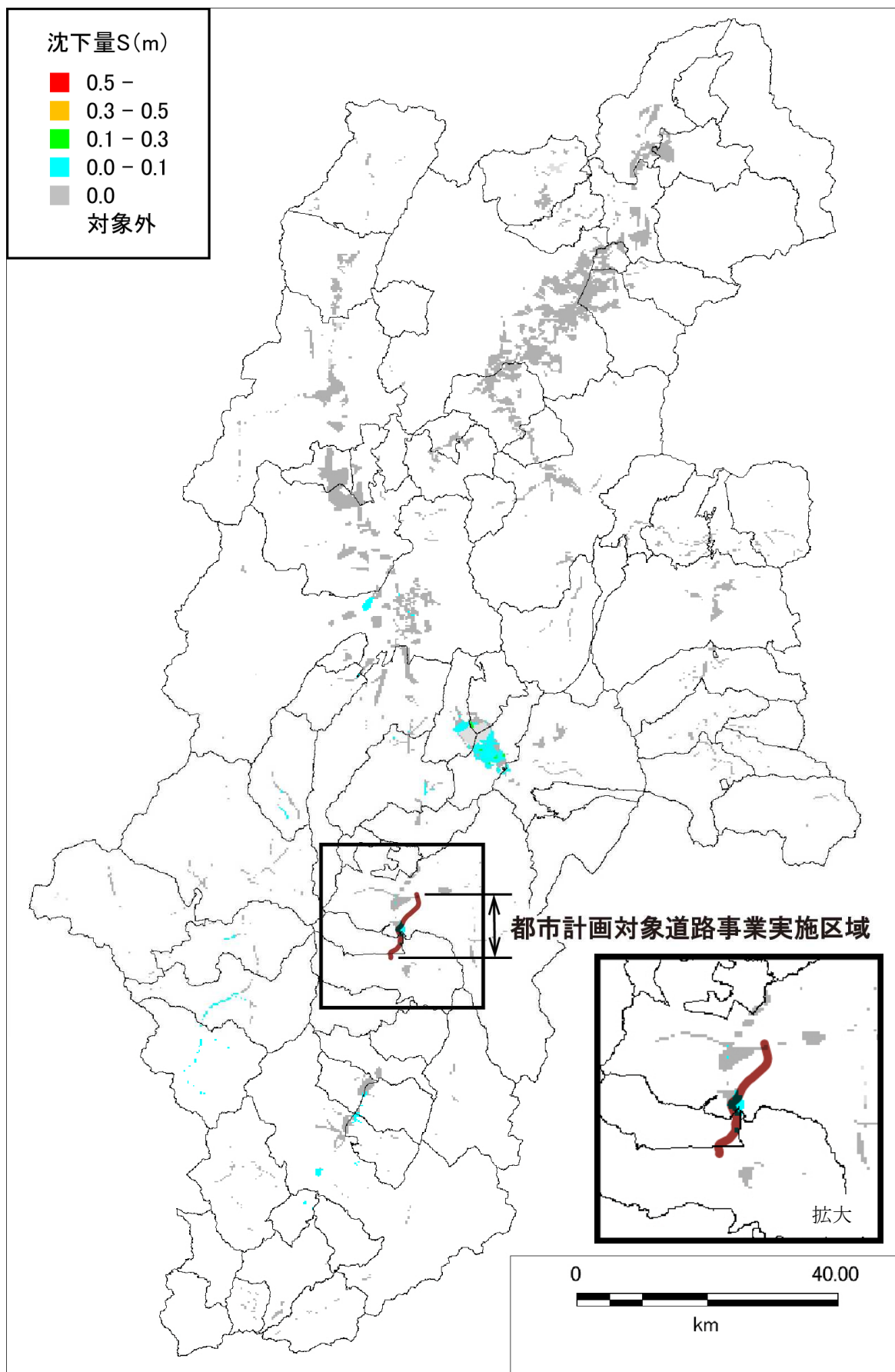
出典：「長野県地震被害想定調査報告書（概要版）」（平成 27 年 3 月 長野県危機管理部危機管理防災課）

図 1.1-2(3) 液状化危険度(ケース 3)



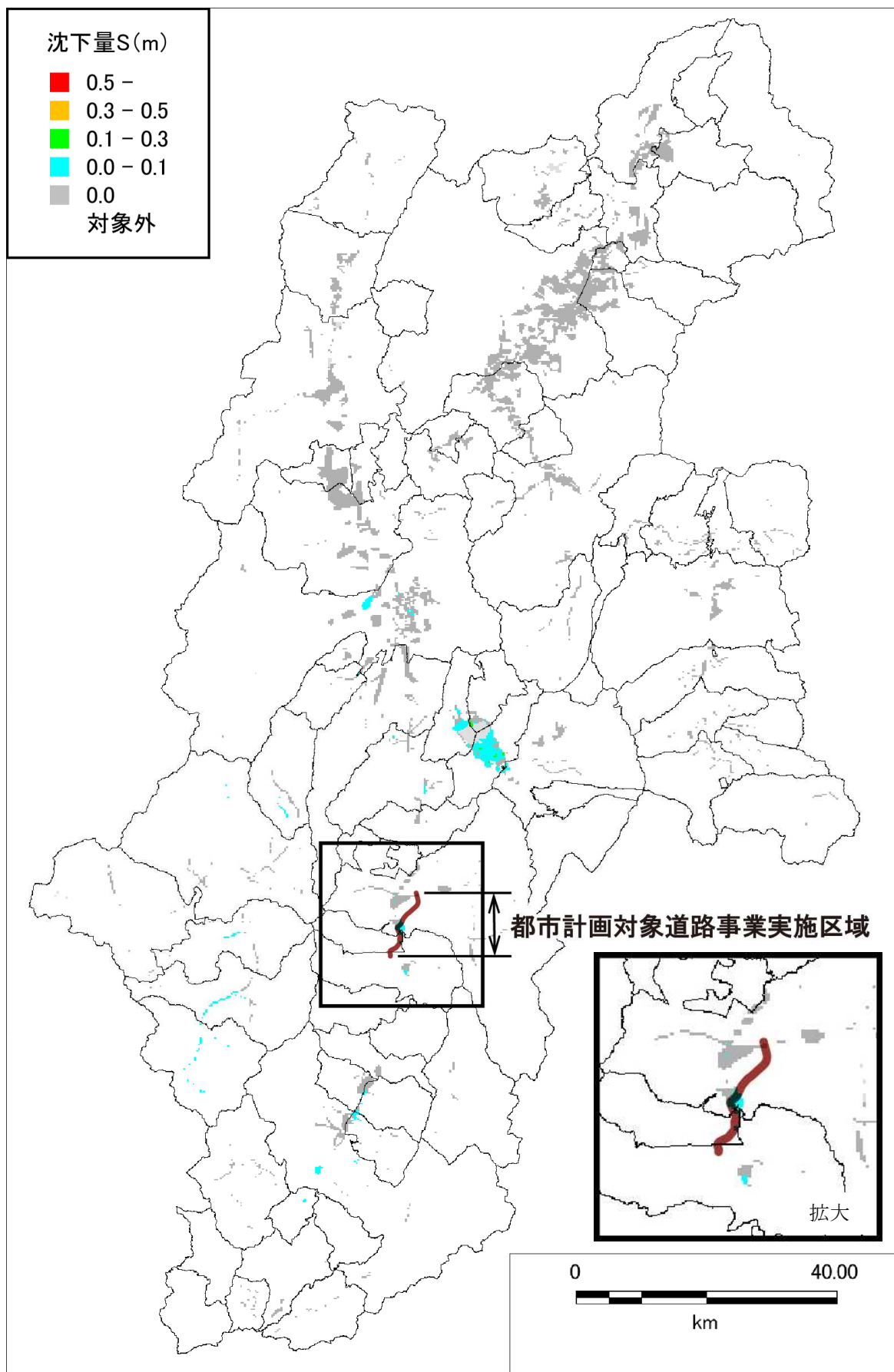
出典：「長野県地震被害想定調査報告書（概要版）」（平成 27 年 3 月 長野県危機管理部危機管理防災課）

図 1.1-2(4) 液状化危険度(ケース 4)



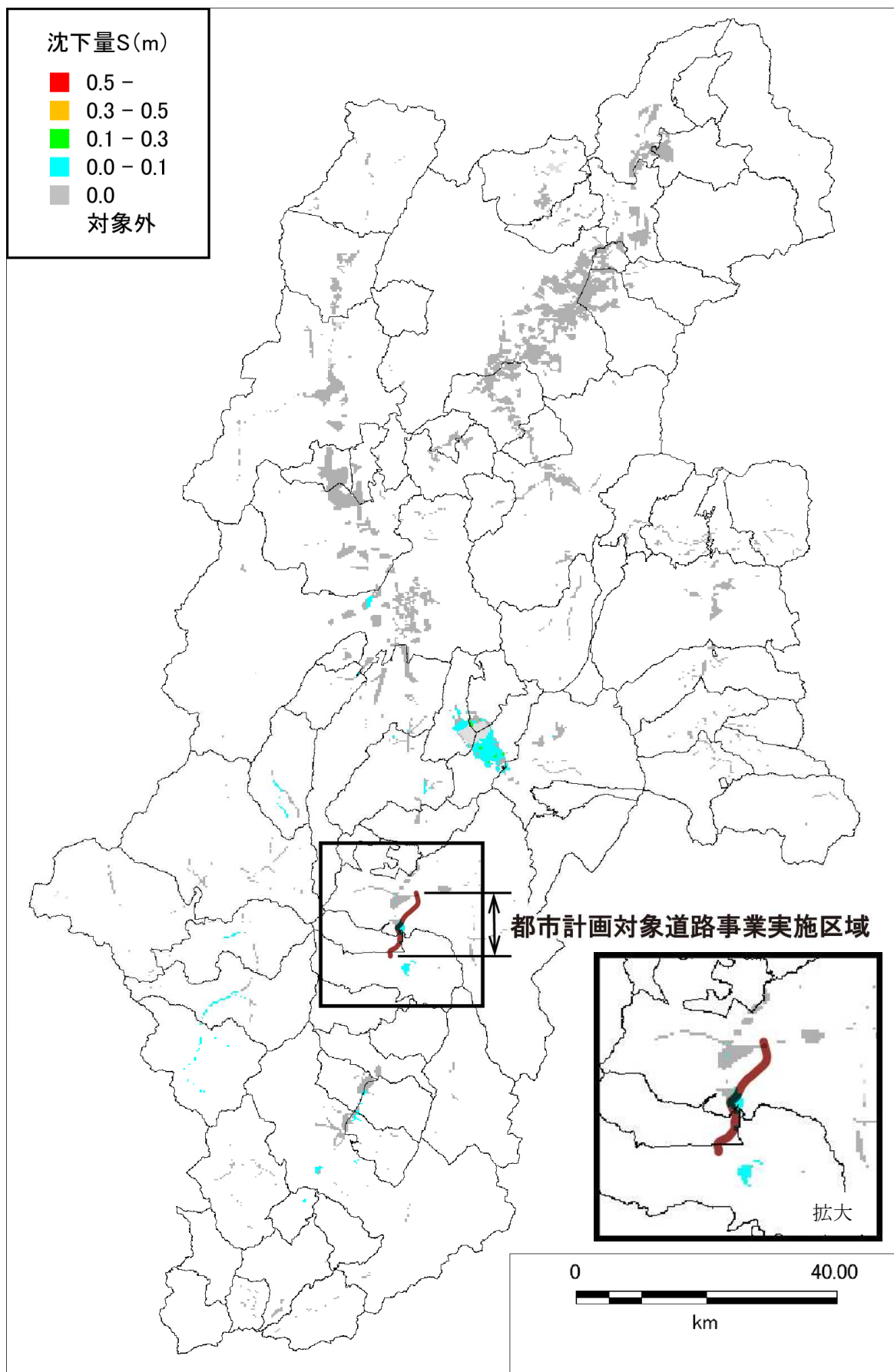
出典：「長野県地震被害想定調査報告書（概要版）」（平成 27 年 3 月 長野県危機管理部危機管理防災課）

図 1.1-3(1) 沈下量(ケース 1)



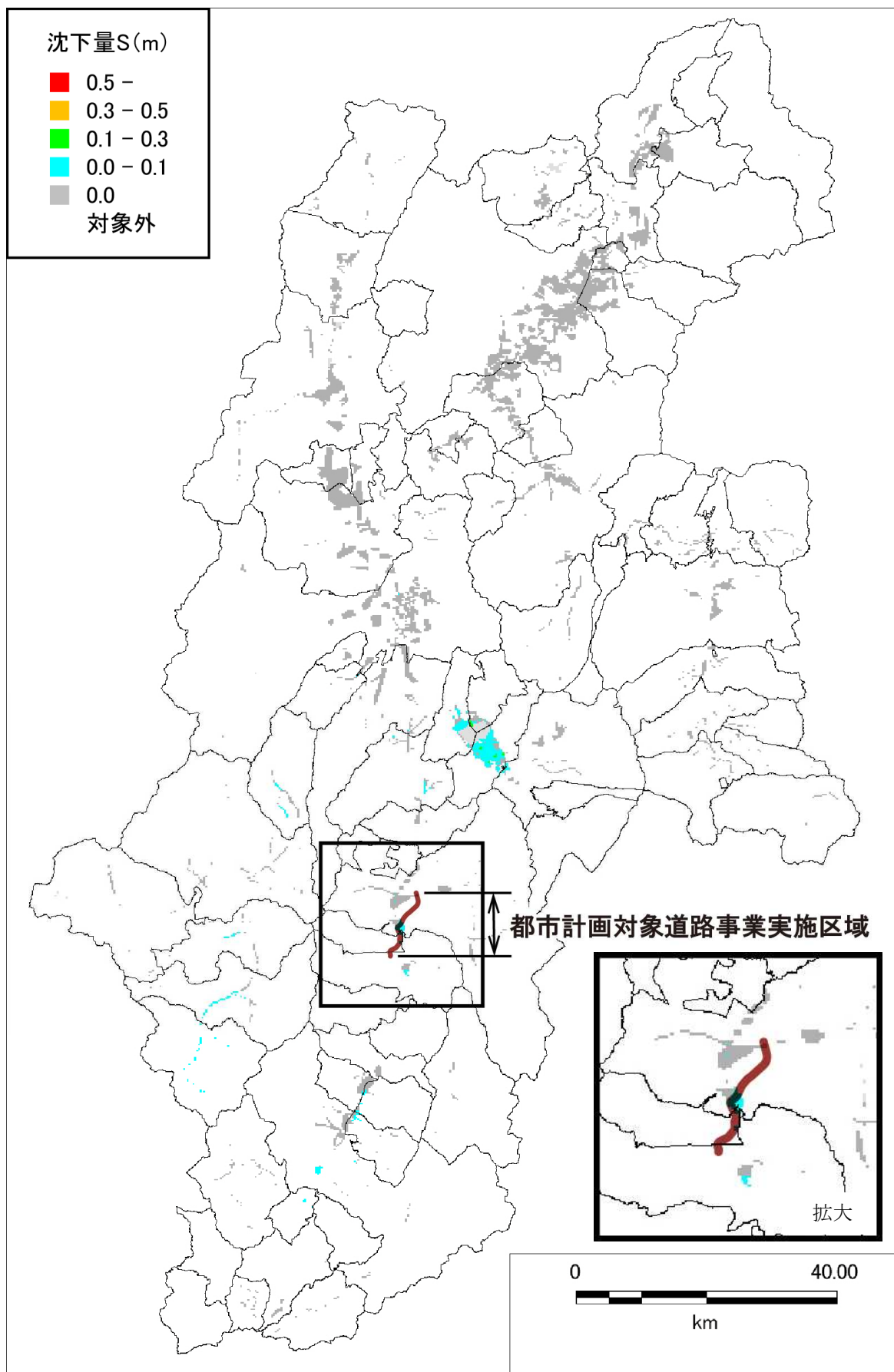
出典：「長野県地震被害想定調査報告書（概要版）」（平成 27 年 3 月 長野県危機管理部危機管理防災課）

図 1.1-3(2) 沈下量(ケース 2)



出典：「長野県地震被害想定調査報告書（概要版）」（平成 27 年 3 月 長野県危機管理部危機管理防災課）

図 1.1-3(3) 沈下量(ケース 3)

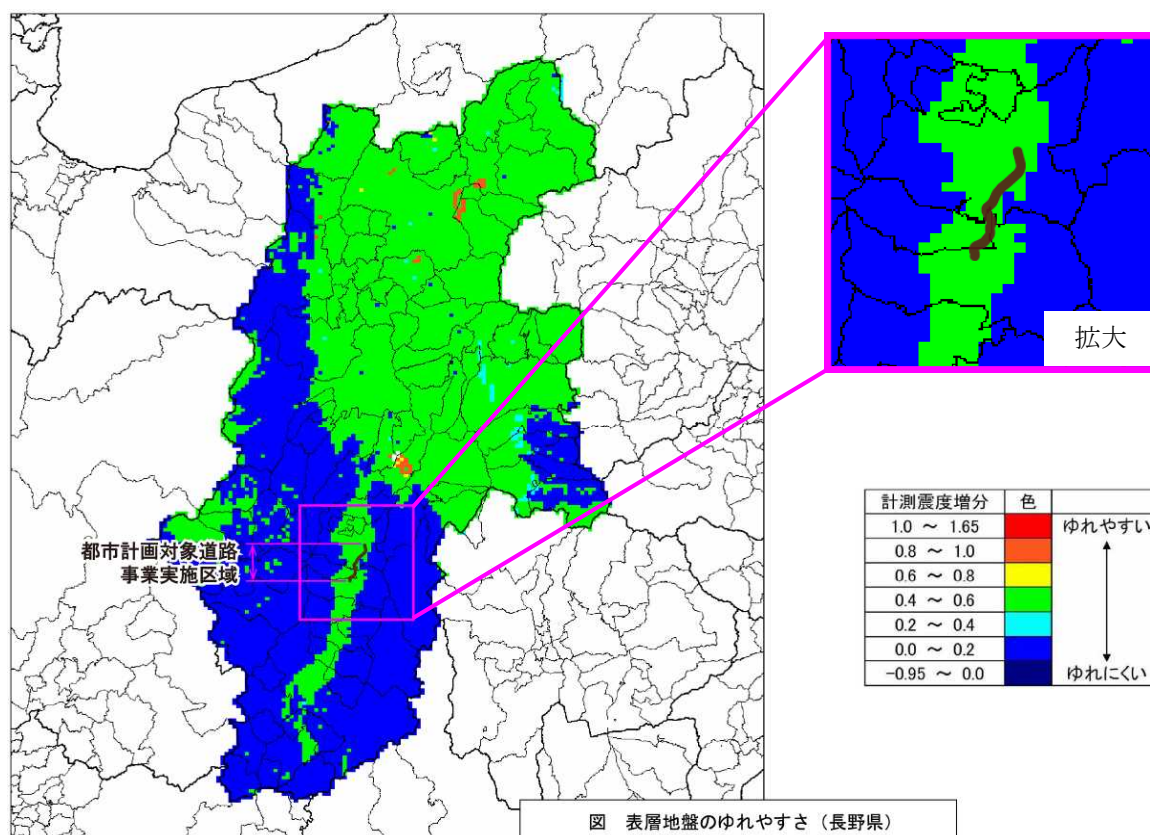


出典：「長野県地震被害想定調査報告書（概要版）」（平成 27 年 3 月 長野県危機管理部危機管理防災課）

図 1.1-3(4) 沈下量(ケース 4)

2) ゆれやすさマップ

調査対象地域における表層地盤のゆれやすさを図 1.1-4 に示す。



出典：「ゆれやすさマップ」（平成 30 年 7 月確認 内閣府 HP）

図 1.1-4 ゆれやすさマップ